

エスペラント ★

Verda Placo 2017 somero

みどりのひろば 2017年 夏

N-ro 39 追悼特集

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



La 102a universala kongresejo
(fotis TADA Ryuji)

故 峰芳隆君との思いで

稲田正昭

追悼の辞についてはK L E Gに記載させて頂きましたので、彼との初めての出会いから、最近までの交流について少し話します。

私が社会人となって数年後、私は“小坂エスペラント講座”を購入し、発音から一人で学んでいました。そんな時、峰君からエスペラント活動に参加しないかとの誘いを受け、とても嬉しかった。姫路でのロンドの創立に参加し、週一回の勉強会にも時々参加していました。その時から彼のエスペラントに関する知識と情熱の高さを尊敬していました。彼は姫路の地にエスペラントを学ぶ人をもっと増やそうと、講習会を開くことを発案し、受講生にはエスペラント語とザメンホフの理想を語っていました。彼は私によく話しました。エスペラントの普及は上からではなく、下から盛り上がってゆくことが大切なのだ。

その後、私の関心は仕事のほうに移ってゆき、彼との交流は年賀状を交換する程度となりましたが、La Revuo Orienta や La Movado で彼の活躍を知っていました。

定年後、例会とかその他のことで時々あうようになりましたが、そんな時、彼が前立腺がんに患い完治が難しいことを知りました。それから彼と二人の時は、人生、宗教、宇宙の誕生、終末、生物の進化、死刑制度、碁、その他について話し合いました。ただ、死についてはチラットしか話しませんでした。彼は歌が好きで、年末には合唱団の一員となり、第九を歌ったと楽しそうに話していました。私は演歌が好きで彼と一度はカラオケに行き、好きな歌を歌い合ってみたかった。

最後になりましたが、彼にはもっともっと活躍の日々を送ってほしかった。エスペラントのために、はりまエスペラント会のために。

峰芳隆君さようなら、心から冥福をお祈りいたします。

合掌

La memoroj de S-ro MINE

吉田信子

峰さんとの出会いは1965年頃だと思います。私は大本で講習会を受け、姫路エス会に入会しました。記憶にあるのは当時のエス語講習会には40名ほどの参加者があり大層盛り上がっていたということです。

当時の峰さんは真面目で勉強タイプの近寄り難いリーダーでした。私那不真面目だったからそう感じられたのでしょうか。最近のイーグレの学習会の折にご退職されて家事を手伝わてるお話などされて「峰さんやわらかくなつたなあ」と近しく感じておりました。

その後、癌を患われてご病状が少し進まれた頃に「関西大会を姫路でやる！」とのお話が入り、私は「これは峰さんの最期の大仕事になる。」と思ひお手伝いをさせて頂きました。

内心「一年先の日程までお身体は・・・」とも思っていました、見事に大会を成功されてとてもうれしかったです。若い頃には怖いと思つていた峰さんが素敵な、華やかな恋愛結婚をされたことにも私は他人事ながら安心(?)と喜びを感じました。

お亡くなりになって数人でご自宅を訪問させていただいた折に お庭にお花が溢れ咲いていて、お元気な折にはそれらのお世話やお料理も楽しんでされていたと伺い充実した療養生活をされていたと知りました。エス界に数々の業績を残された峰さんですが ご本人はまだ～意欲を持っておられ残念なことです、が今はただ～ご冥福をお祈りするばかりです。一時期一緒に活動させていただいた事は私の喜びでもあります。

突然、思い出したのですが、イーグレの学習会で「私は神様はいらっしゃるとおもいます。だけど、信じる事が出来ない。可哀想でしょう？」とおっしゃったのです。お元気なころでした。峰さん安らかに！！



追悼

中村雅子

峰さんとの出会いは今から10年前、2007年4月のことでした。地域情報紙に「エスペラント体験講座」という案内を見つけ、勇んで出かけて扉を開けると小さな部屋に峰さんがひとり座っておられたのです。他にも大勢受講生がいると思っていたので、「えっ？わたしだけ？一対一でどうしょう」と内心焦りました。が峰さんのゆっくりと丁寧にエスペラントの歴史や文法を教えてください、質問にも応えてくださったので、私はその場で入会を決めました。

月一回の学習会では、皆のペースに合わせて ゆっくりと何回も繰り返し辛抱強く教えてくださいました。文法だけでなくエスにまつわる色々なお話をしてくださり、それがとても興味深くますますエスが好きになりました。峰先生が日本エスペラント界の重鎮であり、海外のエスペランティストとの交流もあり、宮澤賢治やエロシェンコの研究者であることも徐々にわかってきました。又、拙い私の木版画を Verda Placo の表紙や寺島俊穂氏の著書「エスペラントと平和の条件」の表紙にも使ってください、本当にありがたく思っています。

不断には穏やかでやさしい峰先生でしたが、2014年に第62回関西エス大会を姫路でやることになった時は違っていました。厳しいことや細かいことも言われ、不機嫌そうな表情も見えました。すでに病氣療養中の峰さんにとって肉体的にも精神的にも大変な負担だったのだろうと、今になって申し訳なく思います。

いつかはお別れの時が来るとわかってはいましたが、峰さんの存在がどれだけ大きかったか、ありがたかったか、今しみじみと感じます。私にとってはエスペラントノ入り口で峰さんに出会えたことは、本当に幸運としか言いようがありません。私の心の中にいつも峰先生がいらしゃいますし、これからもずっとエスペラントを続けていきます。

Koran dankon S-ro Mine

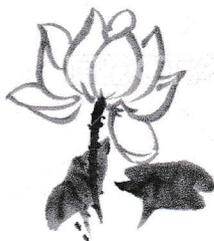
BABA Tokie

私が沼津の通信講座を修了し、当時の姫路エスペラント会に入会したのは2001年9月の事でした。その頃まで勉強会は先生のご自宅で行われていました。私が入会してから、名前をはりまエスペラント会に改正し、会場も加古川市文化センターに変更されました。あの頃は先生のお宅にはよく外国人が宿泊され、翌日は姫路城の見学、イーグレ姫路で会員との交流会等がもたれました。私は全くのkrokodiloですが、楽しくて連絡があるとほとんど参加させて頂きました。中でも印象が残っているのはフランスから来られた新婚カップルです。二人とも大きなリュックを背負い、恰好ははしゃぐことなく大人しい感じでしたが、エスペラント国の海外旅行を楽しんでいる姿がうらやましかったです。そして忘れられないのはドイツから来られた老夫婦で、アフリカのシュバイツァー博士の病院に長いこと勤務されていたそうです。峰先生の通訳で私の父がソ連で捕虜になっていたという事を知り、自分もソ連に抑留されていたと言われたことにビックリ致しました。最後にエスペラントを頑張りなさいと言われたことなどを、思い出します。

先生は博識家でエスペラントに関してはすべて知り尽くされていたようです。私は宮沢賢治の本にでてくるイーハートーブと言う言葉を疑問に思っていたので質問致しましたら、嬉しそうにそれは今私が研究している分野ですよと。答えられたのを思い出します。先生が亡くなられてから、ご自宅へ弔問に行きました時、書棚にずらっと並んでいる宮沢賢治全集やその他の本に感心いたしました。

姫路で開催された第62回関西エスペラント大会には沢山の方が参加され、先生との再会を喜ばれていたのを思い出します。あの大会の成功は一重に先生のお力のお蔭でした。

今改めて決心致します。峰先生がこの播磨の地に植えられたエスペラントの木を大事に育て次世代へしっかりとバトンを渡していきたい、努力していきたいという事です。(無理かも知れませんが、..)



峰 先生

大前知子

長い闘病生活、本当にお疲れ様でした。7月27日、イーグレで学習会がありました。

もう教室のドアが開くことはないのですね。先生はいつもそっとドアを開けてサルートンと言いながら、にこやかに入ってこられました。

私はエスペラント語もさることながら、先生のお話がとても好きでした。エスペラントにゆかりある歴史上の人物の話を、少し上向き加減で何かを想像しながらお話しされました。すべてエスペラントに繋がる内容で、私はいつも興味深く聞かせていただきました。

昨日のように思い出されます。体調をくずされてからも、よく顔をみせえくださいましたね。みんな心待ちにしていたのでドアが開き、お顔を見せて頂いた時はワーキヤーと喜んだものです。そして、今、思えば腰をさすりながらも私たちのために無理をして教室に来てくださっていたのですね。申し訳ないと同時に感謝の気持ちで一杯です。

”感謝“

そして、今、先生の事を思い出すのは関西エスペラント大会が大成功に終わった時のことです。私達のエスペラント語の寸劇が終わった後、外のソファに座っておられた先生が満面の笑みで、「よかったよ！！」と言って迎えて下さった時の先生のお顔です。安堵と達成感を味わった瞬間でした。そして先生はいつも温かい眼差しで私たちに接して指導して下さいました。これからも、こつこつですがエスペラント学習を続け

ますので見守って
てくださいね。

“Koran dankon”



第 65 回関西エスプラント大会に参加して（6 月 3 日・4 日）

馬場祝栄

会場である大阪大学豊中キャンパスに初めて門をくぐりました。何と緑の豊かな、静かな環境でしょう。まず阪大博物館を覗いてみました。「HANDAI ロボットの世界」展を開催していました。よくテレビでみかけるロボット等が展示されており、興味深々。でもダ・ヴィンチアンドロイドは本物の人間がすわっているようで、気持ち悪いし怖かったです。そして又阪大創立の歴史、偉大な卒業生を知り、勉強になりました。

受付を済ましてから、Heliko の歌の練習に行きました。Bob Dylan の Blovas en la Vent'の歌を練習しました。この歌を E で歌えるなんて思ってなかったので感動です。これは帰ってから皆で練習して、ザメンホフ祭で合唱したいです。指導して下さった、浅田さんは相変わらず優しいきれいな高音のお声でした。一般公開講演はまず、落語家 桂福点さんの講演と創作落語です。E を点訳版で独習されているとのこと、感心しました。創作落語は「駅で落ちない話」で視覚障害者の方が駅のホームから落ちて亡くなった事に心を痛め二度と起こらないようにと作られたそうです。こんな機会ではか、鑑賞出来ないのよかったです。

次は大阪大学合唱団の登場です。やはり若いっていいな。この中で E に興味を持ってくれる人がおれば良いなと、どうしてもそっちの方に考えがってしまう私です。

最後は堀泰雄さんの講演でした。東日本大震災の被災者に寄せる世界のエスプラント達の優しい思いやりに改めて感動いたしました。この公開講座には一般の方が 40 人ほど参加されているそうですが、エスプラントの世界のすばらしさに気づいてほしいなと、おこがましいですが思いました。



又堀さんの様にできたらすばらしいエスプラントと言えます。が、私の E の力では到底無理だなと反省しております。

開会式はいつもの様に、厳粛に始まり、みなすごいなあと感心するのみです。

Gaja Vespero では、狂言がよく知っている「ぶす」で E もなんとなく分かり、笑いました。

腹話術も人形とのやりとりに大いに笑わせられ、E で人形と歌い合った”与作“にもただただ感心いたしました。

最後のコーラスグループ Heliko の合唱に厚かましくも初めて参加しました。練習した“Blovos en la vento”と“Esuperanto estas La Lingvo por ni”を会場の皆様といっしょに合唱しました。

二日目はエ {スペラントの効果的な広報につながる活動を考えよう} 参加しました。

どこのロンドでも悩みは同じです。高齢化、減少しつつある会員数。しかしこれは E だけではなくいろいろな平和運動、社会運動にいえることで、今の日本の現状かと思えます。

“グローバル・スクリーニング・デー“参加者募集のチラシをいただてきました。これは、国際社会における言語の意味、地域と権力についてディスカッションする場を設けたいという思いから企画された上映会だそうです。是非はりまエスペラント会として参加してみたいと思いますが如何でしょうか。よろしく願いたします。

<峰さんをしのぶ会ご案内>

日時:10月1日(日)

午後2時~4時

会場:神戸市青少年会館5階研修室
KLEGとはりまエスペラント会の
共催となります。

はりまの皆様へ13時から準備などありますから、早めにご参加ください。

皆様のご出席をお願いいたします。



Fabelo pri vento kaj bambuaro

風と竹林の話

塚本 猛 (c.tak 1970, 2017)

(Daŭrigo de la n-ro38)

Pasis tri monatoj. La patro revenis, kaj serĉis la etulon. Kie li estas? La edzino diris, li iris ludi. Kien mi ne scias. Tiel mallumiĝis, sed la knabo ne revenas. La patro maltrankvila eliris el la domo, kaj serĉadis lin.

3月経ってかつ、父ちゃんの戻ってこらして、「子どもなどけおっとかい」て言わしたつ。嫁さんな、「遊びに行かしたよ、どくさん行ったか、わしゃ知らんけん」って。暗うなってきたばってん、子どもの戻らっさんけん、父ちゃんな心配になつてかる探しに行かしたとばい。

Tiam ploro ekaŭdiĝis. Li iris direkte al la ploro. Tie nur vento blovis super la bambuaro. La ploron eligas iu bambuo, tiel opiniis la patro. Sed pli proksimiĝinte li trovis fluton, kiu similas al tio de la knabo. Jen vento blovas la fluton, la fluto plore diras: "Mi ne deziras tuĉpenikon nek tuĉŝtonon, nur vi paĉjo revenu tuj al mi!" La patro sciis kio okazis al lia filo. "Ho ve! Se mi nur revenus pli frue, tio ne okazus!"

Ĉu vi ne aŭdis ploron en vento?

そしたらなんか泣き声ん聞こえよるけん、そんなほうに行かしたて。そるばってん、竹林にゃ風ん吹きよるばつかじやつた。ほるけん、泣き声は、竹ん出したつやろうて思わしたつ。ばってん近寄つてみっとしやが、子どもの持とつたごたる笛んあつた。そん笛ば風ん吹いてかる、笛ん泣きながる言うたと。「筆も硯もいりません、とうちゃん、早よ戻つてきてはいよ。」父ちゃんなやつとんこつ、子どもがどがんなつたとか

分かったと。「おるがもうちょっと早う戻ってくつとしゃが良かったつばい！」

風ん吹きよつとき、泣き声ん聞こえたこつは無かね？

TUKAMOTO Takesi, 1970/02/29, 2017/01/06 modifita.

Origine skribita laŭ memoro de la fabelo el la avino antaŭ dek jaroj.



<馬場会員からの情報提供>

ヤクルト“乳酸菌のココロ”2017. 8月号より

今日のヤクルトクイズの答え

③エスペラント語で「ヨーグルト」



ヤクルトの語源はエスペラント語の「ヨーグルト」です。エスペラント語は、ザメンホフというポーランド人が世界共通語としてつくった言語です。ヤクルトの創始者である代田 稔博士は、その言葉の中でヨーグルトを意味する「ヤフルト」を言いやすくし、造語の「ヤクルト」と命名しました。

ちなみに

この乳酸菌飲料が、

いつか世界の人々の元へと広がってほしい。そんな願いを込めて、代田 稔博士は、世界共通語としてつくられたエスペラント語の辞書を手にとり、ヤクルトという名前を生み出しました。ヤクルトの誕生から80年あまり、代田 稔博士の願いは、今では世界37の国と地域に広がっています。



ヨーグルト



ヤフルト



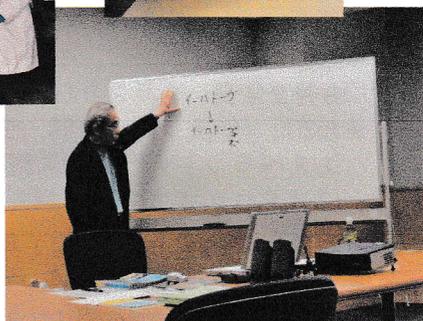
ヤクルト



102回世界大会（ソウル）の報告記事は次回に掲載します。



おもいでの
かずかず



学習例会の記録 Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

<姫路：イーグレ第4会議室>学習例会は午後1時半～4時

4月27日(木) 中村、馬場

5月25日(木) 中村、馬場、三鍋、大前、中川、山岸

6月22日(木) 中村、馬場、大前、山岸

7月27日(木) 中村、大前、馬場、三鍋、山岸

CDエクスプレス, "KARLO"、学習検定問題、歌

<加古川：生活創造文化センター>学習例会は午後1時～4時

期間中 休会

<Skajpo>学習は毎週水曜日 20時～21時

4月5, 12, 19, 26日 5月3, 10, 17, 24, 31日

6月7, 14, 21, 28日 7月5, 12, 19日

延べ59名、22.5時間

Pri "la makulita bendo" Aventuroj de Ŝerloko Holmo "

今後の予定 Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

8月24日、9月28日、10月26日、11月23日、12月21日

★加古川 (午後1時～4時, 生活創造文化センター「かこむ」)

エスペラント入門コース継続都度予定、第2、第4土曜日が日曜日

“「ドリル式エスペラント入門」抜粋使用

★Skajpo (毎週水曜日 20時～21時)

ネットの” Aventuroj de Ŝerloko Holmo “ボヘミヤの醜聞” 使用

編集後記: 峰さんの死去に伴い、追悼特集となりました。大変残念なことです。われわれ、峰さんの遺志をついで、エスペラント活動にさらに広く、深く進めることが、大切かと思えます。ご冥福をお祈りいたします。

次回は102aUKの記事を掲載いたします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 39 2017年8月15日

発行: はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 稲田正昭)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp